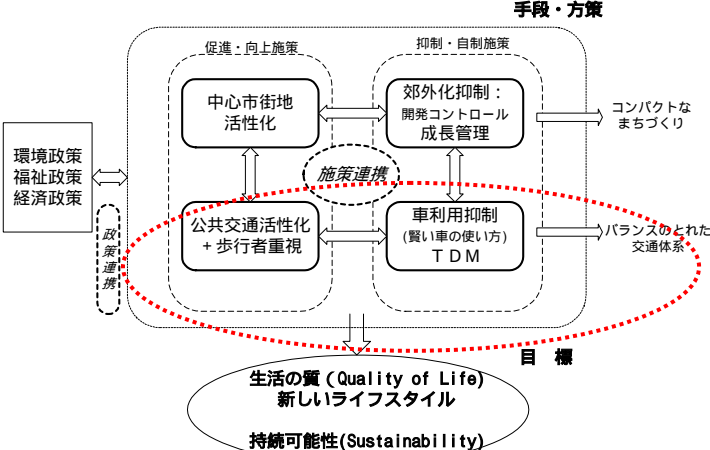
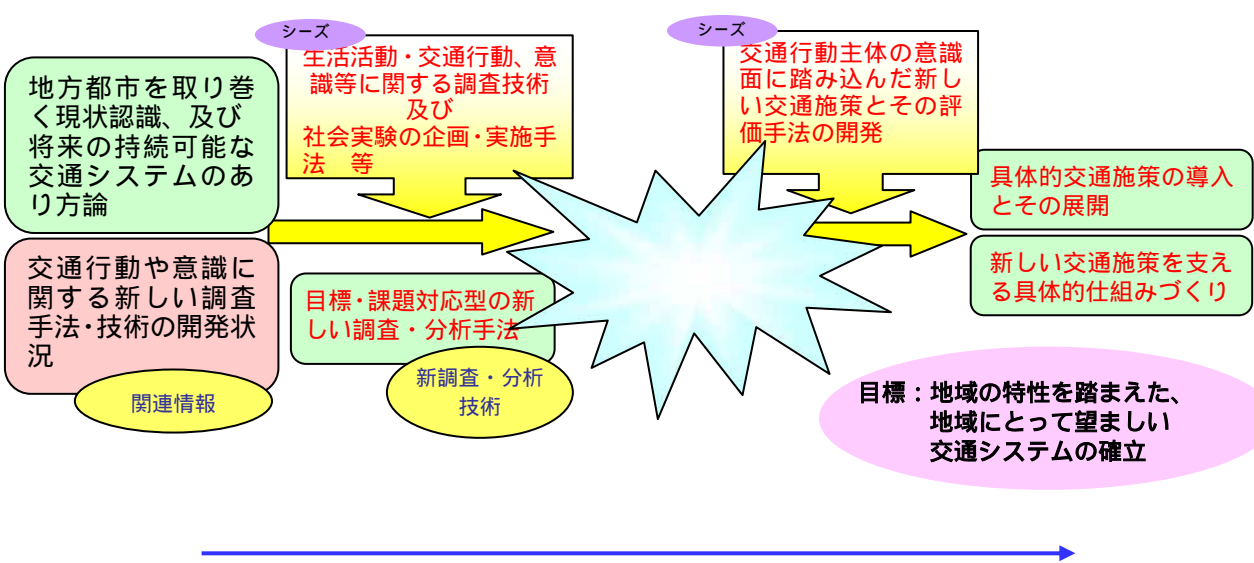


福井大学研究シーズデータ

名前・学部・学科等	工学部 建築建設工学科 川上洋司				
研究情報の分類	シーズ	特許	新製品	分析/解析	調査
研究分野の分類	7	以下の18項目から一つ選び番号を左欄に記入する。 1.物理系 2.エネルギー系 3.化学系 4.バイオ系 5.環境系 6.海洋・宇宙系 7.交通系 8.機械系 9.材料系 10.電子・電気系 11.情報系 12.建築・建設系 13.医学系 14.健康・保険系 15.看護・福祉系 16.農業・林業系 17.水産・畜産系 18.その他			
重点研究分野への該当	I T	ナノ	バイオ	環境・エネルギー	その他
キーワード(5個以内)	公共交通	交通行動	交通意識	社会的便益	社会実験
研究情報の名称	地方都市における持続可能な交通システムの確立に向けた調査・研究				
概要	<p>地方都市における公共交通の衰退/過度な車依存問題を、右図のように交通面にとどまらず土地利用や生活活動等との関係から多面的に捉え、今後の地域における公共交通の存在意義と再生、活性化/賢い車の使い方誘導に向けての方策、仕組みづくりについて、福井地域を対象に実践的な調査・研究を行っている。</p> <p>これまでの実績としては、地方公共団体等との連携による社会実験を通しての「コミュニティバスの導入」プロジェクトや京福廃線問題を対象にした地方鉄道の存在意義、存続条件等に関する調査・研究等がある。今後（H16年度以降）は、第3回福井都市圏PT調査に参画する中で、新しい調査技術/交通施策の提案・評価方法の開発等を行っていく予定である。</p>  <p>手段・方策</p> <p>環境政策 福祉政策 経済政策</p> <p>政策連携</p> <p>促進・向上施策</p> <p>抑制・自制施策</p> <p>中心市街地活性化</p> <p>郊外化抑制：開発コントロール 成長管理</p> <p>公共交通活性化 + 歩行者重視</p> <p>車利用抑制 (賢い車の使い方) TDM</p> <p>コンパクトなまちづくり</p> <p>バランスのとれた交通体系</p> <p>施策連携</p> <p>目標</p> <p>生活の質 (Quality of Life) 新しいライフスタイル</p> <p>持続可能性 (Sustainability)</p>				
調査・研究から実用化までのプロセス	 <p>シーズ</p> <p>生活活動・交通行動、意識等に関する調査技術 及び 社会実験の企画・実施手法等</p> <p>地方都市を取り巻く現状認識、及び将来の持続可能な交通システムのあり方論</p> <p>交通行動や意識に関する新しい調査手法・技術の開発状況</p> <p>関連情報</p> <p>目標・課題対応型の新しい調査・分析手法</p> <p>新調査・分析技術</p> <p>シーズ</p> <p>交通行動主体の意識面に踏み込んだ新しい交通施策とその評価手法の開発</p> <p>具体的交通施策の導入とその展開</p> <p>新しい交通施策を支える具体的な仕組みづくり</p> <p>目標：地域の特性を踏まえた、地域にとって望ましい交通システムの確立</p>				
関連している企業・大学・団体等	福井県・市町村等の地方行政体				
関連する特許1件	なし				
関連する論文1編	福井市コミュニティバス試行事業の経緯と評価				